

<運用に関わる学生のコメント>

大阪府立大学大学院 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野 博士前期課程2年 山田 将史

開発に行き詰ったり、初期運用でトラブルがあったりと、一筋縄ではいかない「ひろがり」プロジェクトでしたが、ミッション成功まで漕ぎ着けることができ、大変感慨深く思います。多くの方々のご支援くださったからこそ、「ひろがり」はここまで成功できました。今後もさらなる成果を出し、お世話になった方々に恩返しできるよう、情熱をもって頑張っていきたいと思います。



大阪府立大学大学院 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野 博士前期課程1年 仲瀬 寛輝

これまで4年間かけて開発してきた「ひろがり」が、今回このような成果を上げることができ、非常に喜ばしく思います。私自身初めての衛星運用ということもあり、いろいろな不安や苦悩がありましたが、メンバーの熱い姿勢や先生方・その他たくさんの方の声援にとても支えられました。本当にありがとうございました。これからも「ひろがり」の運用を頑張っていきたいと思います。



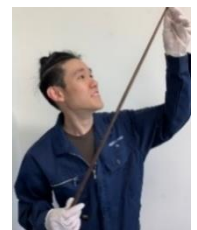
大阪府立大学 工学域 電気電子系学類 情報工学課程4年 森瀧 瑞希

数々の困難があったひろがりプロジェクトですが、ミッションの成功まで漕ぎ着けることができ、非常に嬉しく思います。運用初期に1週間通信ができなかったトラブルは非常に印象強く、このままミッションができないのではないかと不安が募る日々でしたが、多くの方々からの応援の言葉が励みになりました。ひろがり最大限役割を果たせるよう、残りの運用期間も引き続き尽力する所存です。



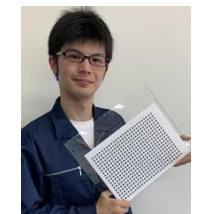
室蘭工業大学大学院 生産システム工学系専攻 航空宇宙総合工学コース 博士前期課程2年 アン イ ヨン

初期運用ではトラブルが次々と起きていましたが、前衛で衛星運用する大阪府立大学の皆様が諦めずに頑張った結果、全てのミッションを成し遂げることができました。本当にありがとうございます。また、「ひろがり」で得られた成果も今後の宇宙開発に貢献できることを期待しています。これまでお世話になった先輩方や先生方、及びクラウドファンディングで支援をいただいた方々に心からお礼を申し上げます。



室蘭工業大学大学院 生産システム工学系専攻 航空宇宙総合工学コース 博士前期課程2年 長 飛洋

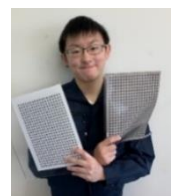
ミッション部の計測班として、今回「ひろがり」に携わらせていただきました。不安な場面なども多かったですが無事に技術実証までたどり着けて、ほっとしております。ここまで来られたのは、お世話になった先生方、先輩方、共同で開発に臨んでくださった府大の方々とお手伝いくださった皆様のおかげだと感じております。本当にありがとうございました。



名古屋大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士前期課程1年 佐藤 伸成

(室蘭工業大学 機械航空創造系学科 航空宇宙システム工学コース 卒業)

ひろがりを通じて衛星開発・運用に人生で初めて携いました。その中でもパネルの形状計測を担当し、パネルの展開を計測・その技術実証が出来たことが何より嬉しい次第です。開発に携わった皆様と得られた成果が今後の宇宙利用や深宇宙探査の大きな礎となりました。皆様の応援あってこそです。改めてありがとうございました。



<関係者のコメント>

大阪府立大学 小型宇宙機システム研究センター長／工学研究科 教授 小木曾 望

ISS からの放出後には通信ができなかったというトラブルを乗り越え、室蘭工大の学生とともに「厚板パネル展開および形状計測」ミッションと「高速通信」ミッションを成功に導いた SSSRC の学生を誇りに思います。今後のアマチュア無線ミッションへの挑戦、さらにはこの成果を 3 号機につなげることを願っています。



株式会社レヴィ 代表取締役／大阪府立大学 非常勤講師 南部 陽介

コロナ禍の混乱にも負けずに、衛星を作り上げ、「ミウラ折りを発展させた二次元展開板構造物の展開」、「軌道上形状計測」、「VHF 帯高速通信」といった挑戦的なミッションを見事に成功させたことは、本当に素晴らしい成果だと思います。大変なことも多いと思いますが、「ひろがり」が宇宙科学に最大限貢献できるよう、引き続き運用を頑張ってください。



室蘭工業大学 特任教授 樋口 健

パネル構造の厚みを考慮した収納・展開方法も、パネル展開後の表面形状を格子投影法の応用で計測することも、その軌道上実証は世界初の試みであり、大阪府立大学との連携のもと室蘭初・室蘭発の人工衛星実験とすることができました。ご支援ご協力をお寄せくださった皆様に改めて心よりお礼を申し上げます。



香川大学 創造工学部 准教授 勝又 暢久

軌道上での厚みがある板構造の展開、また展開形状の計測を達成できたことは、将来の超大型宇宙構造物や超高精度宇宙構造物の実現に向けた大きな一歩だと思います。すでに卒業している OB・OG も含め、室蘭工業大学・大阪府立大学の学生の皆さんの努力が宇宙で大きく「ひろがり」ましたね。開発メンバーの皆様やクラウドファンディングなどでご支援下さった皆様に、改めて御礼申し上げます。



室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター長／教授 内海 政春

開発と運用に携わった学生の皆さんは、喜びと苦しみ、楽しさと厳しさ、たくさんのことを経験し学んできたことと思います。チームワークの大切さや一人ひとりの責任の重みも実感されたことでしょう。学生の成長ぶりが頼もしかったです。また、とてもたくさんの方々からさまざまなお力添えを賜りました。ご厚恩に拝謝いたします。

